

2019年11月12日

日本製薬団体連合会 関係企業各位

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス説明会へのご参加のお願い

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス
運営委員長 清田 浩
実務委員長 松本哲哉

拝啓、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

薬剤耐性菌（AntiMicrobial Resistant：AMR）問題は、国境を越え、人類における大きな脅威・問題となっていることは皆様も周知のことと存じます。AMR 問題の解決は各国の共通課題として、G7 伊勢志摩サミットなどでも大々的に取り上げられ、我が国においても 2016 年に「AMR 対策アクションプラン」が策定・発出されたことは、皆様、記憶に新しいところかと存じます。

このような背景の中、我々、公益社団法人 日本化学療法学会、一般社団法人 日本感染症学会、および一般社団法人 日本臨床微生物学会が合同で行っている「三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス」を、「AMR 対策アクションプラン」における重要分野の一つである「動向調査・監視」に広く活用頂くべく、政府や国の関係機関とも鋭意協議を開始しているところでございます。「動向調査・監視」の重要性、AMR に関するサーベイランスシステムの構築・強化による適正使用の推進、即ち antimicrobial stewardship の早期実現を中心とした AMR 対策については、日本製薬工業協会も志同じくされ、政府への要望書提出や YouTube 等を活用した啓発活動などに尽力されていることと存じます。

本サーベイランスは国内の医療機関から得られた臨床分離株を精査し、薬剤感受性の状況把握や耐性菌の分離頻度を確認しつつ、得られたデータを国内外の学会発表や論文に publish させることで、感染症診療の質向上を図ることを目的に実施しております。本事業につきましては、感染症領域に取り組む製薬企業各社の費用支援のもと、2006 年より経年的に実施しておりますが、ここにきて運用資金不足が問題となりつつあります。

そこで、この度、製薬企業の関係者の皆様にお集まりいただき、改めて本事業内容のご説明をさせて頂くとともに、ご支援頂ける製薬企業各社にとってメリットのある活動にすべく意見交換もさせて頂きたいと考えております。

つきましては、下記にて説明会を開催させていただきますので、是非、ご参集いただければ幸いです。※説明会にご参加頂いたからと言って支援を強要するものではありません。説明を聞いて頂きつつ、支援に関する忌憚ないご意見を頂けると幸いです。

敬具

記

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス説明会

日時：11月26日（火）16時～17時

場所：東京ドームホテル 42階「ペガサス」

なお、人数把握のため、ご参加いただける場合は、下記宛てにメールで企業名と参加人数をご連絡いただけますよう、よろしくお願い致します（登録制ではありませんので、ご連絡がない場合でも参加は可能です）。

何かご不明な点や確認したい事項がある場合につきましても、下記までご連絡頂けますと幸いです。

三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-28-8 日内会館B1 （公社）日本化学療法学会 内

Tel. 03-5842-5533, Fax. 03-5842-5133

<http://www.3ssp.jp>

E-mail: info@3ssp.jp